大宰府展示館へようこそ

私たちは古代太宰府の物語を伝え、埋もれている未発見の秘密を明らかにする進行中の試みを支援することに専念しています。

13世紀前、太宰府は九州の行政の中心地であり、また政治、宗教、文化の一大拠点でした。都市は外国への入り口でした。日本は、東西を結ぶ古代の通商路であるシルクロードの終点に位置していたため、ここを流れる文化や物資は、当時の日本では珍しく、国際主義、高度な素養、学問の精神を育みました。

大宰府展示館は太宰府の豊かな歴史を伝えています。この地域の自然地形がどのようにして大きな防衛目的のために活用されたかを発見してください。宮殿のような政府機関の詳細な立体模型を見て、中国特有の影響に気付いてください。人々が着ていた色が彼らの階級と職業に関連していた理由を見つけ、当時の料理が多様だった理由を知ることができます。一方、写真ギャラリーは、太宰府のかつての栄光の多くを明らかにしている進行中の発掘プロセスに光を当てています。

2019年から始まった日本の時代である令和と関連しています。太宰府は現在でも重要な位置を占めており、8世紀に太宰府で行われた梅の花の咲く宴で作られた詩に由来しています。

古代太宰府への旅をお楽しみください。